

- 1 開催日時** 平成28年7月28日(木)
午後1時30分～3時20分

開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室

2 出席者

- (1) 市民会議委員 17名
- (2) 事務局 協働推進課：入江課長、堀田係長、葛谷
- (3) 傍聴者 なし

3 会議資料

会議次第

地域協議会制度方針における基本事項の確認

(仮称) ありがとう地域ポイント制度【案】補足資料

(仮称) ありがとう地域ポイント制度【案】

陶小学校区における福祉活動のイメージ

4 会議内容

- 1 会長あいさつ
- 2 地域協議会制度方針における基本事項の確認
- 3 (仮称) ありがとう地域ポイント制度の検討
- 4 その他

【司 会】

皆さん、こんにちは。

定刻になりましたので、ただいまから第17回地域協議会市民会議を開催いたします。

会に先立ちまして、皆様に市民憲章の唱和をお願いしたいと思います。

恐れ入りますが、御起立をお願いします。

お手元の次第の裏面をごらんいただきまして、私が先導させていただきますので、後について御唱和をお願いします。

〔市民憲章唱和〕

【司 会】

どうもありがとうございました。御着席ください。

本日は3名の委員の方の御欠席の連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。

本日の予定につきましては、お手元の会議次第のとおりであります。

まず初めに、稲垣会長から御挨拶をいただきます。よろしく申し上げます。

【稲垣会長】

皆さん、こんにちは。

この時期は皆さん方のお住まいの地区でも夏祭りや盆踊り大会など、何かとお忙しい中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、7月5日に、名張市のすずらん台地区の視察研修に行っていました。坂の多い地域でありまして、住民の交通手段の確保ということで、かなり具体的に取り組んでみえまして、参加された皆さん方もそれぞれ地域の力を感じていただけたんじゃないかなと思う次第でございます。

小牧市の地域協議会も考えてばかりいても行動しないと何も変わってこないと思いますので、とにかくスタートしてやっていく中で、いろいろと改善していけばよいのではないかなと思います。

さて、本日は大きく2つありまして、まず1つは、地域協議会制度方針における基本事項の確認ということで、これにつきましては、前回も意見がいろいろ交錯しましたので、地域協議会の考え方を今一度整理しておきたい、こんなふうに思っております。

また、前回も少し触れましたが、（仮称）ありがとう地域ポイント制度

の検討ということで、これも詳細は後ほど事務局から説明していただきますので、それに対する皆様からの忌憚のない御意見を出していただきまして、実りのある会議にしていきたいと思っておりますので、御協力のほどよろしくお願ひ申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

【司 会】

どうもありがとうございました。

それでは今後の議事の進行につきまして、稲垣会長、よろしくお願ひいたします。

【稲垣会長】

それでは、早速会議を進めさせていただきたいと思ひます。

次第の2、「地域協議会制度方針における基本事項の確認」ということで、事務局の説明を求めます。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【稲垣会長】

ありがとうございました。

それでは、御質問とか御意見がありましたらお願ひいたします。どなたからでも結構でございます。

【小柳委員】

今御説明いただきましたが、当初の意見書の関係から、それぞれの委員さんの考え方、御意見など柔軟的に取り入れていただいて、一定の効果、考え方は前進していると、全体的にはそういう印象を持ちました。

現在、3校区しか設立されていない状況の中で、地域の単位という項目の中で謳われておりますように、地域の実情を踏まえて、いかに柔軟に対応していくのかという部分の問題提起をして、議論をしていきながら、前に進めていくような形をとっていただければ、もう少し設立のスピードが上がるのではないかなという感じがいたします。

それから、設立済の地区では、積極的に活動していただいているとは思ひますが、福祉の関係では、やはり新しい人材をどのように掘り起こしていくかということが重要だと思ひますし、また、防災についてもひとつの柱として前進しているようですが、これも魂が入った活動に発展し、他地域の見本になっていくと、素晴らしいなあということを感じました。

【稲垣会長】

ありがとうございました。御意見ということですね。他にも何かお気づきの点がある方はお願いします。

【横井委員】

味岡地区では、協働推進課にお願いして、2回ほど説明の場を設けさせていただきました。1回目は味岡小学校区の関係者に集まっていたき、防災に絡んでの地域協議会の説明という形で、2回目は地区の区長会の場で説明していただきました。

そのとき感じたことは、やはり1回しか聞いていない人と2回聞いた人では、かなり温度差があるということを感じましたので、協働推進課ももっと積極的にいろいろな地域の会合等へ押しかけるぐらいの勢いで説明会をやっていただくと、かなり地域協議会への理解が深まるのではないかなという気がしました。

私も区のほうで、この地域協議会についての説明をいろいろしておるんですけども、最初は地域協議会という名前すら知らない人が多かったのですが、2回目には質問が出るぐらいまでになってきましたので、やはり回数を重ねるごとに段々分かりやすくなっていくことを実感しましたので、そこら辺もひとつ参考にして、お願いしたいと思います。以上です。

【鳥居委員】

私も南地区区長会長として今年度からこの会に参加させていただいていますが、参加させていただいている以上、先ほど味岡の例もありましたけれども、月1回程度の打ち合わせで話を出すようにはしています。

ただ、いろんな意見を聞く中で、やはり小学校単位というところが議論になるケースが多く、例えば防災の観点からいうと、ある地域では避難する場合は中学校に行くというようなケースもあったり、なかなか進まないなあということを私自身は感じています。もちろん地道にやっていけば前に進むという御意見もあるとは思いますが、現実的には、地域の区長さんは1年、長くて多分2年で交代されますので、継続的に話し合うことがなかなか難しいという現状があります。正直、私自身答えはないんですが、一番は小学校区単位を基本としながら、いかに柔軟性を持たせるかということの方向が出ると、引き継ぎながら継続して、議論していけるのではないかと思います。

【上坂委員】

制度ができてから約3年経過し、結果的には3校区だけということで、企業ですと、多分潰れてしまう状況だと思います。まずこの状況について、市民会議委員と事務局は反省すべきだと思います。

やはり前回からいろいろな意見が交錯する中で、それぞれの地区がそれぞれの事情を抱えてみえる根本的な問題について、改めて審議していくべきだと思います。

【稲垣会長】

貴重な御意見ありがとうございました。

【林委員】

今、上坂委員が言われたように、各地域が抱える大きな課題を解決しない限り、地域の区長さんにしろ、誰にしろ、進めることはなかなかできないと思います。地域がそれぞれ抱えてみえる課題、例えば小学校区と区長会の6地区との付き合いが異なる地域はどちらを選択すれば良いか、というような大きな課題を、市は地域で自主的に話し合ってくださいというような指導をされるけど、これについてはある程度、市からこういう割り振りでやってください、こういう条件でやってください、というように指導してもらわないと、なかなか結論が出る話ではない。

だから毎回言うようですが、地域で受け入れられるかどうかは別として、この会議の中で皆さん方と協議しながら、ある程度方向性を決めていくべきではないかと思うし、そういう方向性を出すことができれば、前向きな話し合いができると思います。

それから拠点の関係も同じで、小学校の空き教室や地域の会館の活用もできるところとできないところがあるので、これも市の方である程度決めてあげないと、動けないんじゃないかなと思います。

私は発足当初からこの市民会議に参加させていただいておりますが、地域で支え合い、助け合っていこうという地域協議会の趣旨や考え方は大変素晴らしいと思うし、将来的には必ず必要になるものだと思います。

ただ、今すぐにとすると、ほとんどの人が特に困っていない。そういう状況で進めていこうとするならば、手挙げ方式でやってくださいということではなく、もうこれは市が腹をくくって、年数を切って、全市に立ち上げていくということをやりたいと思います。

是非、皆さんで前向きに考えて、進めていきたいと考えています。以上、

私の個人的な意見です。

【正門委員】

先ほどの林委員の御意見に同感です。私も全て地域に判断を委ねるのではなく、市である程度の方向付けを出す必要があると思います。

【佐藤委員】

村中校区の状況ですが、防災分野については本当に関心が高いので、進んでいくんですが、いかんせん地域協議会となると、危機感というか、何で必要なのかという意見が出てきてしまうのが現状です。

まずは趣旨や必要性を地域の各団体へ伝えていくことが必要だと改めて思いました。

【堀尾委員】

北里地区も区長会等で話し合いをしておりますが、先ほどからの御意見のとおり必要性、危機感が伝わらない、むしろ地域の課題というと空港関係のほうが問題だという認識です。

ただ、小木小で防災訓練を今年から始めたり、部分的にはそれぞれやっ
てはいるんですが、それをまとめていこうと思うと、やはり考え方や必要性などについての勉強会を繰り返しやって、ひとりでも多くの方に聞いて
いただくしかないかなと思います。

【吉田委員】

私も林委員と同じく発足したときから参加させていただいております。同じような意見の繰り返しが続いておりますが、私も地域の方々がいかに危機感を持っていただくかということが一番のポイントではないかと思っ
ております。

まちにはまちの課題、田舎には田舎の課題ということで、いろいろあつて、まとまらない。その中でやっていくためには、例えば福祉分野に的を絞って進めていく、その辺りから掘り下げてやっていってはどうかと思います。

【濱地委員】

私は小牧に住み始めて26年ぐらいなんですが、暮らしている中で生活に不便を感じたことはあまりありません。そして将来的に地域の助け合いって本当に必要なのかなと言われても、正直まだ全然実感が湧かない状態です。

小牧市というのは、割と利便性のいいところが多いですし、そういう実

感が湧かない状況はあると思います。

ただ、将来の状況を私たちの世代もまずは“知る”ということがとても大事かなというふうに思っています。

今は少しずつですが、地域協議会の説明会や勉強会をされているというふうにお聞きしているんですけども、そういう地域協議会を知る会だったりとか説明会だったりとか、そういうことを地道に地域ごとで行っていくことが、より身近に感じるんじゃないかなというふうに感じました。

【松浦委員】

本日の資料にある基本事項の確認を読ませていただきましたが、とても一生懸命に3年間やっていただいて、皆さんが御意見を出してくださった足跡がよく見えるなというふうに感心しておりました。

ただ、1つ思うことは、区と小学校の範囲や割り振りが全然決められていないような気がするんです。そういう線分けをきちっとしておかないと、先に立ち上がったところはここまで取り込みましょう、こちらの小学校区ですね、後に残ったところは、さあどうしよう、あそこも本当は自分のところなんだけど、どういうふうに残った人だけでやるのか、あちこち取られたあとの残りだけで立ち上げるのか、ということで、相当混乱するんじゃないかなと思います。

それから、既存の区や3あい事業など、行事や活動の重複がかなりあると思うんです。まずはそういう既存の行事や活動の整理が必要でないかなと思います。

最後に地域の代表である区長さんの任期が1年任期、2年任期、あるいは自分がやりたいと思ったらずっと長くやれるところと、いろんな区長さんがおられる訳ですね。そうすると、こういう継続的な話し合いをしようと思うと、各区でバラバラになってしまう。そういう大前提の整理ができていない状況で、いろんなことが進んでいるんじゃないかなというふうに感じました。

素朴な意見だったかもしれませんが、私はそのように感じました。

【秦野委員】

私も地域協議会って必要なんだろうなということをずっと思っていたんですが、改めて考えると、危機感のないところにつくれといたってできないんですよ。

実は小さな区だとか、いろんなところに本当は課題があるんだけど、ひ

とつの大きなグループにまとめてしまうと、逆にその課題が見えなくなっちゃうんじゃないかとも思ってしまう訳です。

確かに陶地区のような規模ですと、3つの区で、同じような課題を共有しており、非常にまとまりやすいと思います。ただ、規模の大きい学区になると、いろんな区があって、その区の中でも更に細分化されているんですよね。ここの組は高齢者しか住んでいないとか、ここの組は新しくできたから、子どもたちがうるさいとか、やはり課題といっても本当に多種多様なんです。

改めて考えてみると、やっぱり個人とか自分の家庭でできないことを周りの近所同士でやる、近所同士でもできないことを区（自治会）でやる、区でできないことを小学校区でやるというような形で、それぞれに役割があると思います。

その役割分担が明確に分かれていないので、まずはそれをすることが必要だということ、次に先ほどから御意見が出ているように、「地域の実情を十分に考慮」というところが、実はこうやって話しているようで、ざっくばらんの話しかできていない。

例えばこの地区には何区あって、何区の中にどんな組がどれだけあって、その中のどこが何の問題を抱えているのか、あるいは、どこの地区がどこの小学校区なのか、というような情報をちゃんと見えるようにしてから議論をしないといけないと思います。

そこから始めて、次にどうやって解決するのかということ、その地域だけで解決できる問題だったらいいですけれども、そうでなければ、どういうふうに連携をとって解決するのかということも議論するのが先なんじゃないのかなという気がします。

現在、3校区設立されていますが、それぞれにやり方や進め方は違うと思いますし、今後も地域の課題に合わせてやっていくから、情報ネットワークだけの地域協議会があってもいいし、行事をやる地域協議会があってもいいし、高齢者の生活支援に取り組む地域協議会があってもいいと思います。

ただ、その課題が何か分からないと全然話は進まないなので、やっぱりそういう部分をいろんな形で情報を明確にしていく必要があると思います。どうしても大きな地域協議会という枠だけをつくることを目指してしまうと、何か小さな課題というのはいつまでも解決せずに、大きなテーマの防

災、福祉という中で、どうしても手からこぼれていくようなものが出てくるんじゃないのかなと、そんな気がしました。

【小柳委員】

意見書が提出され、もう数年たっておりますが、協議会の単位の部分では、私は様々な意見を申し上げてきたんですが、そういうものは実際に私がいなかった会議の中では反映されていないんですね。

本来は、単位を小学校区単位と決めるなら、先ほどの地区と学校区の不一致などについて議論して、整理するべきかなと思うんですが、その経過が無いから、今になって同じような議論になってしまうと思います。

私が申し上げるのは、地域で歴史的に積み上げてきたものを残しながら、小学校単位でやっていく解決策があるならば、一步も二歩も前へ進んでいくと思っていますが、積み上げてきた祭りさえ危うくなるような状況では、これはもう地域住民に説明が付きません。

以上、そんなことを私の気持ちの一つとして、申し上げた次第です。

【稲垣会長】

どうもありがとうございました。

本日はいろいろ御意見を出していただきまして、今までよりもかなり突っ込んだ意見が出まして、個人的には良かったのではないかと思います。事務局として、お感じになったところが多々あると思いますので、事務局からまとめをお願いします。

【事務局】

厳しい御意見も含めまして、貴重な御意見をたくさんいただき、ありがとうございます。

意見がたくさんあり過ぎまして、まとめになるかどうか分かりませんが、やはり今、なぜ地域協議会の設立に至らないかの要因ということで、今出たような区割りの問題だとか、あと活動拠点の問題だとか、危機感がないだとか、必要性を理解していただけないとか、本当に様々なことがあるのは事実です。

ただ、私どもが進めていく中で、設立に至らない要因の一つとして、やはり地域の小学校区の中でリーダーとなる方、市と地域の窓口を担っていただく方がなかなか見つけられないことが大きいのかなと感じております。

また、区の御理解、御協力が必要不可欠であるという認識であります。約7割の区長さんが1年で交代という状況の中で、区長さん方を中心に地

域協議会を担っていただくというのもなかなか難しいと思っております、その辺のところも事務局の中では話をしておりますが、現役の区長さん方だけではなくて、区長を経験していただいた方、いわゆるOBの方々にも積極的に声をかけさせていただいて、進めていきたいというふうに考えております。

【稲垣会長】

ありがとうございました。やはり桃花台地区や南部・西部地区のような既存のコミュニティ組織がある地区に対する考え方を整理していかないと前に進まないと思いますので、改めて事務局のほうでその辺りをまとめていただき、方向性を出していければと思いますので、よろしく申し上げます。

【林委員】

やはり地域ごとの事情をふまえ、根本的な課題に対する考え方や方向性を決めていくしかないと思います。

例えば桃花台地区で桃花台まつりを続けるなら、4つの小学校区の合同事業としてやっていくとか、我々の南部地区では、既存の運営協議会を無くすのか、無くさないのか、無くさないとするなら、運営協議会の立場をどうするか、そういったことに対する考え方や方向性を示していけば、前へ進めていけますので、事務局も十分考えていただきたいと思います。

【稲垣会長】

ありがとうございました。では、そろそろ意見も出尽くしたのではないかと思いますので、次に移らせていただきます。

これは先ほどの検討項目の中の8つ目の項目の関連ですが、次第の3、「(仮称) ありがとう地域ポイント制度の検討」ということで、事務局の説明を求めます。

[事務局から資料に基づき説明]

【稲垣会長】

では、今、説明をお聞きになりまして、何かお気づきの点がありましたらお願いいたします。

【上坂委員】

この案は非常にいい案だなと思いますが、利用者・協力者については登録制ということで、登録のイメージを伺いたい。

【事務局】

これは今、地域協議会を想定した制度になっていますので、協議会で、こういうことをやっていくので、もし時間があるところでお手伝いをいただける方があれば、ぜひ登録をお願いしますというようなPRチラシを作成し、回覧や全戸配布等にて、その都度募集をかけていくようなイメージです。

【堀尾委員】

今、協力者のお話がありましたが、他の地区も多分そうだと思いますし、北里地区でも既存のボランティアグループがあって、そういう方は全て無償でやってみえるんですけども、そういった既存のボランティアとのすみ分けについてはどのような考えでしょうか。

【事務局】

これは前回も御意見が出ておりましたが、本来、ボランティアは無償ですので、それをポイント制にすることで、感謝が苦情に変わってしまう場合があったり、また、一部でこういうポイント制度、有償的なイメージのボランティア活動が始まってしまうと、現在、ボランティア活動をしている方々は全てポイントがついてやっているようなふうに思われてしまって、やりにくくなってしまう場合があるというようなことも事実としてあるんですが、そういった無償、有償の線引きが明確にできるかと言われると実際には難しい部分があります。

ですので、いきなり全市的に広げて大々的にスタートすると、混乱することが予想されますので、まずは小さくスタートするということで、地域協議会が主体になって回していけるような仕組みを用意しておいて、地域の話し合いの中で、このポイント制度を使ってみようということから始めていければ、大きな混乱はなく進めていけるのではないかと考えております。

ただ、一方的に押し付けるつもりはなく、例えば陶地区で地域のお助け隊が結成され、高齢者の生活支援を実際にやっていこうかという段階で、こういうポイント制度の仕組みが上手く活用できればということから考えております。

【水野委員】

まず、ネーミングの中で、ボランティアという言葉が出てきていないので、率直に大丈夫かなと思いました。あとは、案をぱっと見たときに気になるのは、このAさん、Bさん、Cさんという言葉と、それから制度を活

用して協力者が増加するという、この部分が、既存のボランティアさんたちが見られたときに、全く反するものだということが非常に気になるところです。

私はこういうものは全てボランティア団体からいろんなところに寄附、自分たちの活動が寄附という形で還元されるかなと思っていたので、お金が動くということがすごくひっかかりますし、実際に社協で登録してみえるボランティアさんは、そういうことが目当ての人たちはおりませんので、何か失礼ではないかなと懸念するところがあります。

【小柳委員】

私は、どんなボランティアであっても、全く無償というのは問題があるんじゃないかというふうに考えます。例えば保険だってそうですね。しかし、時間給的なものをもらうと、それはまた仕事の責任が発生してしまうので、まずいと思いますが、いずれにしても今回は、陶小学校区の動きを見据えて、仕組みをつくっておくのは良いと思います。

確かに全市的に大々的にやるということだと、これはまたいろいろ問題が出てくると思いますが、限定的、試行的に、どういう結果があるかということをやってみていただき、よければもう少し輪を広げていくということにもなるでしょうし、問題があるなら、問題を検証して、修正していくということになろうかと思いますが、陶地区で頑張ってください、我々にその状況を教えていただきたいと思います。

【稲垣会長】

ありがとうございました。

時間も大分迫っておりますが、その他、御意見はありますか。

ポイント制度につきましては、小柳委員からも御意見がありました、試験的にスタートして、悪い点があれば直していけばいいし、場合によっては止めるということになるかも分かりませんが、まずは陶地区でそういう動きが出ており、やってみようということであれば、それはありがたいことだと思いますので、そんな形で調整していただきたいと思います。

皆さん方、今日は本当に熱心にいろいろ御発言していただきまして、ありがとうございました。

事務局、最後に何かありますでしょうか。

【事務局】

地域協議会全般につきましては、本日いただいた御意見を参考にさせて

いただき、設立までに至っていない地域での課題を整理させていただきたいと思います。

また、ポイント制度につきましても、本日お示しさせていただいたのは、あくまでも地域協議会が運営主体となる形での助け合いの仕組みの骨組み、イメージということであります。

現在、健康福祉部のほうで、介護保険制度の改正に伴うさまざまな事業の一環といたしまして、市全体でのポイント制度の制度設計、活用方法を検討しているところであります。

地域協議会におけるこのポイント制度につきましても、今後、健康福祉部とも十分に協議・調整を図りながら、市全体としてのポイント制度と同時に進めていくこととなりますので、若干時間のほうを要するというふうに思っております。

そういう状況でありますので、誠に勝手ではあります但、当初予定しておりました8月29日の月曜日は休止をさせていただきまして、次回は9月29日の木曜日に開催させていただきたいと思っておりますので、ご了承いただきたいと思っております。

そのときに、さきほどの課題の整理や地域協議会の進捗状況、ポイント制度の報告ということを考えておりますので、よろしく申し上げます。

事務局からは以上です。

【稲垣会長】

どうもありがとうございました。

それでは、第17回目の地域協議会の市民会議、これをもちまして終了させていただきたいと思っております。

皆様、長時間に亘り、ありがとうございました。